

花火業界の常識を打ち破る二つのストーリー

『発案から3カ月で商品化』と『ワクチン開発への寄付』

創業83年で史上初の商品 7月1日発売開始

玩具花火、煙火、玩具、雑貨、菓子の企画・製造・販売する株式会社若松屋（本社：愛知県西尾市、代表取締役：佐野泰隆）は、「小さな光を大きなヒカリへ」をキーワードに『花火のチカラ』を2020年7月1日（水）に発売開始しました。（一部店舗にて先行発売有）

全国小売店で販売する『花火のチカラ』は出荷数に応じて、当社からコロナウィルスワクチン開発のために、国立国際医療研究センターに寄付を行います。

花火セットの内容は気軽に遊べる線香花火と煙の少ない手持ち花火となり、「NO密レジャー」を楽しめる商品です。

花火で人々の思いを一つにできたらという思いを込めて、8月7日にはプロジェクトの参加に対する御礼と“悪疫退散”花火を打ち上げ、Twitterでライブ配信を行います。



■ 史上最速での商品化

商品化のきっかけは、3月末の社内会議での「新型コロナウイルスの蔓延で今年の花火業界は危機的状況になるのではないか」という一言からでした。その日決まった内容は「この状況下に即した売り場の提案をしていこう」ということだけで具体的な内容までは決まりませんでした。

さらにその後、当社も交代出勤、在宅勤務へと突入してしまい、そこからは慣れないWeb会議を利用して今回の商品『花火のチカラ』のコンセプト、デザイン、販売方法等を決めていきました。

通常のおもちゃ花火（※）は1年～2年の歳月をかけて商品開発します、実質3か月で販売まで辿り着いた今回の商品は、弊社83年の歴史でも初めてです。

※おもちゃ花火：花火業界では「玩具花火」と呼びますが、当社では「おもちゃ花火」と呼び、手持ち花火、地面に置いて楽しむ花火など、個々が自宅や花火を許可されている広場等で楽しむ「家庭用花火」のことです。

■ 売上げの一部をコロナウイルスのワクチン開発機関へ寄付

花火は老若男女に関わらず楽しめる夏の風物詩で、人々に笑顔とひと時の安らぎをもたらす商品だと信じています。

当社は、コロナ禍の中で何かできないかと考え、思いついたアイデアが今回の「寄付をしよう」ということでした。ただ、弊社1社で出来ることには限りがあるため、お客様の“チカラ”も借りて一緒に取り組めればと思いました。

また、寄付先に関しても様々な検討を重ねました。今までも、これからも「老若男女楽しめる商品であり続けるためには」という思いでワクチン開発を行う『国立国際医療研究センター』への寄付を決めました。

当社の歴史上、おもちゃ花火で商品に花火以外のサービスが付帯するというものはありませんでした。初めての取り組みではありますが、これが大きなチカラになってもらえればという気持ちです。

【花火のチカラプロジェクト】第1弾概要

① プロジェクト限定の花火セット「花火のチカラ」を販売します。

<販売開始日> 本日より全国販売 2020年7月1日（水）（一部先行発売有）

<販売場所> イトーヨーカドー、ドン・キホーテ他、全国小売店

<価格> 1セット300円（税別・メーカー希望小売金額）

<セット内容> 気軽に遊べる線香花火と煙の少ない手持ち花火のセット

② 当社より「花火のチカラ」の出荷時に1セットに対して30円を国立国際医療研究センターに寄付します。

③ 「花火のチカラ」で花火を楽しむ画像を当社公式Twitter

(<https://twitter.com/wakamatsuya>) で募集し、花火を通じて人と人とのつながりを作ります。

※募集した画像1つ1つをパーツにモザイクアートを作成し、2021年以降の商品パッケージデザインに使用します。

④ 当プロジェクト参加の御礼と悪疫退散祈願をこめて、当社が8月7日（金）に場所は非公開で打ち上げ花火をあげます。

打ち上げ花火の様子は全国からオンラインで楽しめるようにTwitterでライブ配信します。



花火の起源については諸説ありますが古代中国の『狼煙（のろし）』とされています。この時は煙による伝達的手段でしたが、その後火薬の技術発達に伴いきれいな花火になっていったといわれています。

日本では、室町時代頃におもちゃ花火（※）なるものが登場しています。現代の打上げ花火に繋がるものは徳川家康が最初に見たといわれ愛知県三河地方を中心に花火の開発がすすめられました。

夏の風物詩として楽しんでいただいている花火大会の起源は、8代将軍吉宗の時代に慰霊と悪疫退散の意味を込めて行った『隅田川の花火大会』とされ、その流れが各地に広がっていったものといわれています。

※おもちゃ花火：花火業界では「玩具花火」と呼びますが、当社では「おもちゃ花火」と呼び、手持ち花火、地面に置いて楽しむ花火など、個々が自宅や花火を許可されている広場等で楽しむ「家庭用花火」のことです。

【若松屋について】

当社は、玩具花火（家庭用花火）と煙火（花火大会用花火）と花火全般の企画、製造、販売を行っています。線香花火から尺玉までを作り、取り扱い火薬の量は日本最大級の花火屋です。

当社は「花火」を、多くの人に感動と喜びを提供できる商品であり、「玩具」は子どもたちの豊かな感性を育む商品と考えています。

今後も昭和12年の創業からの信念である「お客様第一」に基づき、「花火」「玩具」などの商品を通じて社会貢献をすることを目指していきます。

【会社概要】

会社名	：	株式会社若松屋
代表	：	代表取締役 佐野 泰隆
本社	：	愛知県西尾市下羽角町岩谷56-1
東京支店	：	東京都台東区柳橋1-5-6
貝吹工場	：	愛知県西尾市貝吹町大牛切65
ホームページ	：	http://www.wakamatsuya.tv/
設立	：	昭和39年（創業昭和12年）
資本金	：	3000万円
年商	：	35億円
従業員数	：	55名
事業内容	：	おもちゃ花火、煙火、玩具、雑貨の製造・卸売

〈お問合せ先〉

株式会社若松屋 広報担当：朝岡
TEL (0563)52-1331 FAX (0563)52-3888
担当者携帯 080-4062-7840 mail s-asaoka@wakamatsuya.tv

若松屋 広報事務局

担当：柴山（070-1389-0172）メール：pr@netamoto.co.jp
TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788